

ありがとう100年!

松田町は、平成21年4月1日に町制施行100年を迎えます。

## 平成20年度 会計別の予算額

会計別	予算額	前年度比
一般会計 ①	38億8,000万円	7.8%
特別会計 ②	27億8,106万円	△23.8%
国民健康保険事業特別会計	12億7,751万円	2.5%
国民健康保険診療所事業特別会計	9,531万円	0.3%
老人保健特別会計	9,075万円	△90.7%
寄簡易水道事業特別会計	4,389万円	△14.1%
下水道事業特別会計	4億973万円	△5.0%
介護保険事業特別会計	7億2,921万円	1.0%
西平畑公園事業特別会計	0	皆 減
用地取得特別会計	720万円	△93.3%
後期高齢者医療特別会計	1億2,746万円	皆 増
企業会計 ③	1億7,850万円	0.4%
上水道事業会計	1億7,850万円	0.4%
合計 (①+②+③)	68億3,956万円	△7.9%



松田山の早咲き桜は葉桜へと変わりましたが、足柄平野のあちらこちらには、桜が見ごろを迎えています。さわやかな春の訪れと共に、町政も新年度が始まりました。

今年度の予算総額は、一般会計・特別会計を合わせ、総額68億3,956万円(前年度比7.9%減)で、一般会計は38億8,000万円(同7.8%増)となっています。一般会計の歳入については、法人町民税は大幅な減となり、町民税の増収が見込めないなか、地方交付税も削減傾向にあるため、減収補てん債(町税の減収を補うための借入金)や臨時財政対策債(地方交付税の不足分の一部を賄うための借入金)の発行により財源を確保しています。このように一段と厳しい財政状況を踏まえ、予算編成にあたってはコスト削減に努めるとともに、第三次行政改革大綱実施計画に基づき、全ての事業について、存続・縮小・廃止等を明確に打ち出し、町民サービスを極力低下させないよう進めました。

主要事業には、町の総合計画21「活力と魅力のあふれるまちづくり」の重点施策として取り組んでいる新松田駅南口駅前広場整備事業があります。この事業は、18年度より関係者の方々のご理解とご協力をいただきながら事業用地の取得に取り組み、22年度の完成を目標に推進しています。また、「安全で快適に暮らせるまちづくり」では、地震の揺れが到達する前にその地震情報を分析し、町民の皆さまに一斉にお知らせする全国瞬時警報システムを整備して、防災対策の充実を図ってまいります。「人と地域が連携するまちづくり」では、地権者のご了解をいただき用地を確保できることになりましたので、**沢尻地域集会所施設の建設を計画しています。**

平成20年度

**予算総額は約68億4千万円**  
**前年度比7.9%減**

一方、ソフト面では、19年度から子育て施策の一環としてスタートしましたファミリー・サポート事業が100名を超える利用者がありますので、引き続き安定した運営ができるよう努めます。また、健康づくりや地域医療などの事業、高齢者や障害児・者福祉を充実するための事業などについても計画的に行ってまいります。

今年度も町民の皆さんと、より良いまちづくりを進めてまいりますので、よろしくお願いたします。



## 生き生きとした人と文化のまちづくり



**ロウバイの里づくり 卒業記念植樹350本!**

宇津茂地区生産森林組合や町農業委員会、寄自然休養村運営協議会、有限会社みやまの里などにより組織されるロウバイの里づくり委員会では、荒廃地にロウバイを植樹し、地域振興に寄与しようと、昨年に引き続き植樹を行いました。地元の寄中学校3年生も卒業記念としてこの植樹に協力し、今年も350本のソシンロウバイを植樹しました。

この植樹は、平成17年に宇津茂地区の荒廃地を開墾し、ナタネの種をまいたことから始まりました。18年にはソシンロウバイ250本、さらに19年には250本を植え、今年の350本をあわせて、850本にもなります。

ロウバイは1月から2月にかけて芳しい香りとともに美しい花をつけます。地元の方々や卒業生たちが想いを込めて植えたたくさんのロウバイ、来年に咲くのが楽しみです。

【問合せ】環境経済産業観光係  
☎83-11228



**酒匂川左岸(三角土手) 多目的広場完成!**

酒匂川左岸側(三角土手付近)では、昨年10月より整備を進めていた多目的広場が3月に完成しました。この多目的広場は、松田町・大井町に対して永山栄一さんよりいただいた寄附金を活用して整備を行いました(寄附金についての詳細は広報まつだ1月号をご覧ください)。この多目的広場の使用開始日や貸し出しなどにつきましては詳細が決まり次第、広報まつだなどでお知らせします。

【問合せ】教育課生涯学習係  
☎83-7023